

名古屋市立大学病院「地域連携フォーラム」の開催にあたり

地域医療連携センター長 森田明理(副病院長)

名古屋市立大学病院「地域医療連携フォーラム」は、名古屋市立大学病院と地域医療機関の先生方と顔のみえる連携を築くために平成25年度より開催しております。第1回～3回は当院の施設にて診療科の紹介と意見交換会を開催しました。第4回はサイプレスガーデンホテルにて意見交換会を開催し、第5回、6回はANAクラウンプラザホテルグランコート名古屋にて意見交換会を実施してきました。昨年度は院外から142名の方にご参加いただき、診療科(5診療科)からのアピールタイム(1診療科5分程度)と診療科ごとにブースを設け、地域医療機関の先生方の取り組みと各診療科の特色や取り組みについて軽食を取りながら懇談していただきました。



今年度(第7回)は、地域医療機関の先生方に名古屋市立大学病院の取り組みをお伝えするために、病院長より“サクラ咲くプラン NEXT”について、副病院長からは担当の取り組みについて少しお話をさせていただきます。そして懇談の中で地域医療機関の先生方のお話をお伺いし、当院の各診療科の特色や取り組みをお話させていただく中で、患者さんへの最善の連携に繋げる機会となることを願っております。

何卒ふるってご参加くださいますようお願い申し上げます。

第7回 名古屋市立大学病院

別紙よりお申し込みください。

地域医療連携フォーラム

日時:

11月10日(土)
17:30～19:30

場所:

ANA クラウンプラザホテル
グランコート名古屋
5階ローズルーム

(名古屋市中区金山町1-1-1)



がんゲノム医療専門外来(「がんゲノム外来」)開設のお知らせ

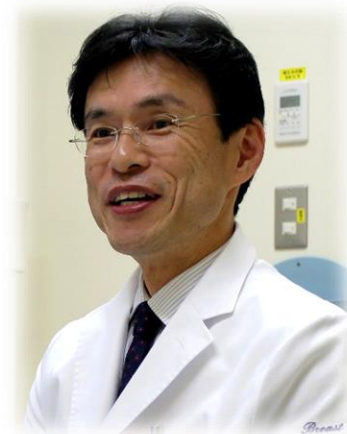
がんゲノム医療ワーキンググループ長 遠山竜也(乳腺外科)

名古屋市立大学病院は厚生労働省より「がんゲノム医療連携病院」に選定され、本年10月より「がんゲノム外来」を新たに開設致しました。

「がんゲノム外来」とは「がんゲノム医療」を希望される患者さんを対象とした、診療科の枠組みを超えた専門外来です。

「がんゲノム医療」とは、患者さん一人ひとりのがんの原因を明らかにし、より適した治療薬を選択する次世代のがん治療です。異なるがん種でも同じ遺伝子に変異がある場合や、同じ分子標的薬が有効な場合があることが最近わかってきました。このような状況のなか、患者さんのがんに関する遺伝子を1回の検査で網羅的に解析し、抗がん剤の選択に役立てる遺伝子検査「NCC オンコパネル検査」が本年4月より先進医療Bとして開始されました。この遺伝子検査は、がんに関連する114個の遺伝子変異と12個の融合遺伝子変異を1回の検査で調べることができます。

名古屋市立大学病院では「NCC オンコパネル検査」以外にも、自由診療としての「OncoPrime(オンコプライム)検査」などの「がんゲノム医療」をスムーズに行えるような体制を整えましたので、ご利用頂けましたら幸いです。



桜山地域連携勉強会

11月8日(木) 「泌尿器科疾患の最新医療を紹介します」

19:30~21:00 名古屋市立大学病院 腎・泌尿器科学 教授 安井孝周

【お申込み・お問い合わせ】 地域医療連携センター TEL052-858-7150

ロボット支援手術(ダ・ヴィンチ)の見学を行います。
(20:30~21:00 予定)
ぜひご参加ください。



患者さんのご紹介等に関する医師へのご相談・ご意見をお受けします。お気軽にお問合せください。

地域医療連携センター
TEL 052-858-7131(直通)
renkei@med.nagoya-cu.ac.jp

笑顔と感動にあふれる
病院を目指します

